

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費 [火災安全システム事業]						
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 4	
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input checked="" type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名		地域包括ケア推進（高齢介護）課		高齢者支援		係	課長名 石嶋 洋平	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号		2 - 2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進					総合計画書(ページ)		51	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の高齢者であって、寝たきり状態の者または心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な者。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 単身高齢者世帯数・高齢者のみ世帯数(令和3年4月1日現在)				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な高齢者の火災に対する不安を解消するとともに、生活の安全を確保する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) システム新規設置数・機器給付数				
	③ そのために何をしましたか。 火災安全システム事業は、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯で火災が発生したとき、無線発報器を用いて東京消防庁に通報するものである。また、火災警報器・ガス安全システムなど、機器のみの現物給付も行っている。市民から申請があった場合、高齢者ほっと支援センター相談員が状況確認し、把握した情報に基づいて市で決定し、システムの設置または機器の給付を行っている。所得に応じて1割の利用者負担あり。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) システム利用世帯数・機器給付数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	件	単身 6,279 のみ 4,798	単身 6,481 のみ 4,833	単身 6,702 のみ 4,860		
	成果指標	②の数値	件	新設 0 機器給付 1	新設 0 機器給付 0	新設 0 機器給付 1		
	目 標	②の目標値	件	新設0機器給付3	新設0機器給付1	新設0機器給付1		
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 高齢者世帯の火災の予防や消火活動の迅速化等を図るため、前年度実績を目標に設定した。								
活動指標	③の数値	件	利用 1 機器給付 1	利用 0 機器給付 0	利用 0 機器給付 1			
3 経費	事業費(実績)		円	21,680	6,600	24,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	19,680	2,600	24,200		
		特定財源	円	2,000	4,000	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)		円	831,000	838,000	825,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	852,680	844,600	849,200			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							